



環境経営レポート

2020年度

対象期間：2020年6月1日～2021年5月31日

発行日：2021年6月22日



項 目	頁
環境経営方針	1
組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、事業規模等）	2
対象範囲（認証・登録範囲）	2～3
環境経営活動組織図及び役割・責任・権限	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	7
代表者による全体評価と見直し・指示	7

環境経営方針

□ 【環境経営理念】

株式会社リバースケミカルは地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し特別管理産業廃棄物（廃油）を再生加工し再利用化を促進することで、循環型社会の形成に貢献することを目指し、課題とチャンスを確認することで環境経営の継続的改善を推進します。

□ 環境経営方針

1. エネルギー使用量の効率的利用によりCO₂排出量の削減に努める。
2. 受託した産業廃棄物の適正処理及び活動に伴う廃棄物の削減に努める。
3. 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境への配慮に努める。
4. 水使用量の削減に努める。
5. 化学物質の適正管理に努める。
6. 環境関連法規等や当社が約束したことを遵守する。
7. 環境経営方針は、全従業員に周知する。
8. 環境経営目標・活動計画を定め、継続的改善に努める。
9. 環境経営方針は、取引先にも理解と協力を要請する。

制定日：2010年4月16日
改定日：2021年1月17日
株式会社リバースケミカル
代表取締役
中田 敬子

【組織の概要】

- (1) 事業者名及び代表者氏名
株式会社リバースケミカル
代表取締役社長 中田 敬子
- (2) 所在地
本社・工場 兵庫県神戸市北区道場町塩田山崎2636番地
物流倉庫 兵庫県三田市東本庄字大歳谷2224番5
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 小西 岳史 (実験室室長)
連絡責任者 小西 岳史
TEL : 078-985-2061 FAX : : 078-985-3081 E-mail : info@rebirthchemical.co.jp
- (4) 設立、資本金、売上高、処理実績
設立 : 1967年6月26日
資本金 : 1,000万円
売上高 : 38,100万円 (2020年度)
処理実績 : 廃油 (中間処理量) 1,950 t 特別産業廃棄物の収集運搬量 2,192 t (2020年度)
産業廃棄物の収集運搬量 265 t
- (5) 事業内容
特別管理産業廃棄物中間処理、再生廃油の販売、溶剤の小分けと販売、産業廃棄物収集運搬

(6) 事業規模

	本社・工場	物流倉庫	合計
従業員数	19名	0名	19名
敷地面積	3,395 m ²	2,378 m ²	5,773 m ²

- (7) 事業年度 6月～翌年5月
- (8) 認証・登録範囲 全組織・全活動が対象

(9) 施設の概要

<処分業>

特別管理産業廃棄物処分業	
許可番号	神戸市 第6790003215号
許可年月日	平成30年5月31日
有効期限	令和5年5月30日
廃棄物の種類	廃油
事業の範囲	中間処理 (蒸留再生)
処理施設の種類の種類	ボイラー加熱による水蒸気蒸留及び単蒸留装置
処理能力	20 t / 日
処理料金	200Lドラム : 4,000円～12,000円 (廃液の性状による)
処理工程図 ※沈殿残渣、蒸留残渣は廃棄物として処理委託	
<pre> graph LR A[排出先] -- 収集 --> B[リバースケミカ] B --> C[蒸留釜に投入] C --> D[蒸留] D --> E[冷却] E --> F[脱水・脱色] F --> G[製品検査] G --> H[出荷] </pre>	

■ 施設の概要：普通貨物自動車 6台（8t×3台、4t×1台、2t×1台）

(I) ① 特別管理産業廃棄物収集運搬業（2020年度、主な収集運搬実績）

行政区分	許可の種類	許可番号	許可年月日	許可の有効期限	運搬実績
兵庫県	廃油	02863003215	平成30年7月1日	令和5年6月30日	925 t
滋賀県	廃油	02551003215	平成30年7月22日	令和5年6月29日	147 t
大阪府	廃油	02750003215	平成30年6月12日	令和5年5月19日	465 t
愛媛県	廃油	3855003215	令和1年8月13日	令和6年8月12日	299 t
京都府	廃油	02650003215	平成30年7月3日	令和5年6月24日	139 t
山口県	廃油	03550003215	平成30年10月23日	令和5年10月22日	0 t
香川県	廃油	03759003215	平成29年11月8日	令和4年10月28日	42 t
徳島県	廃油	3650003215	平成30年2月14日	令和5年2月13日	107 t
奈良県	廃油	02950003215	平成29年4月18日	令和4年4月17日	68 t
合 計					2,192 t

② 特別管理産業廃棄物積替え・保管

積替え・保管場所：兵庫県三田市東本庄字大歳谷2224番5

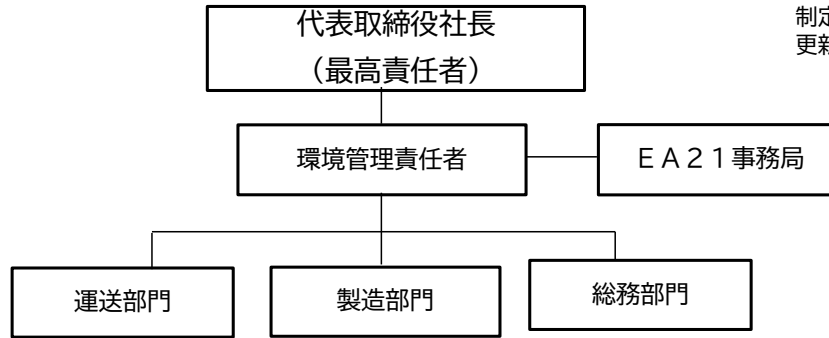
積替え・保管を行う産業廃棄物の種類：廃油

積替え・保管面積：7.60㎡

積替え・保管上限：6.80㎡

(II) 産業廃棄物収集運搬業（2020年度、主な収集運搬実績）

行政区分	許可番号	許可年月日	許可の種類											運搬実績			
			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	繊維くず	ゴムくず	ガラスくず		がれき類		
兵庫県	02808003215	令和1年6月22日	○	○	○	○	○	○	○	○							376 t
		令和6年6月21日															
京都府	02600003215	平成30年7月3日		○			○									2 t	
		令和5年6月24日															
大阪府	02700003215	平成29年3月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	66 t	
		令和4年3月13日															
滋賀県	02501003215	平成30年8月7日		○			○		○						16 t		
		令和5年8月6日															
奈良県	02900003125	平成29年4月18日	○	○											4 t		
		令和4年4月17日															
合 計											464 t						



	役割・責任・権限
最高責任者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定、見直し ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示に必要な情報（環境経営目標の達成状況等）を報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
電力使用量CO2排出量	kg-CO2	32,669	33,205	33,109
ボイラー燃料使用量CO2排出量(重油)	kg-CO2	440,269	427,223	383,167
自動車燃料使用量CO2排出量(軽油)	kg-CO2	183,353	176,946	165,564
CO2排出量合計	kg-CO2	656,291	637,375	582,290
産業廃棄物排出量	kg	2,636,200	2,689,700	2,450,400
水使用量	m ³	2,851	2,903	2,677
生産量	t	2,569	2,419	2,166

※ 生産量＝廃油から蒸留再生した油の量

※ 2017年度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：関西電力株式会社 0.418kg-CO2/kWh

※重油：二酸化炭素排出係数 2.71kg-CO2/L 軽油：二酸化炭素排出係数 2.58kg-CO2/L

【環境経営目標及びその実績】

*削減率：(実績÷基準値)×100%

環境経営目標	単位	基準年度	2020年度		2021年度	2022年度
		2008年度 (基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
生産量 (a)	t	2,787	—	2,166	—	—
電力使用量 (b)	kWh	78,742	—	79,209	—	—
電力使用量原単位 (b/a)	kWh/t	28.25	26.91	36.57	26.84	26.77
	基準年度比	削減率	95.25%	129%	95.00%	94.75%
重油使用量 (c)	L	135,000	—	141,556	—	—
重油使用量原単位 (c/a)	L/t	48.44	46.14	65.35	46.02	45.90
	基準年度比	削減率	95.25%	135%	95.00%	94.75%
軽油使用量 (c)	L	62,342	—	64,172	—	—
軽油使用量原単位 (c/a)	L/t	22.37	21.31	29.63	21.25	21.19
	基準年度比	削減率	95.25%	132%	95.00%	94.75%
産業廃棄物排出量 (e)	t	2,692	—	2,450	—	—
廃棄物原単位 (e/a)	t/t	0.966	0.898	1.131	0.889	0.879
	基準年度比	削減率	93.0%	117%	92.0%	91.0%
水使用量 (f)	m ³	4,203	—	2,677	3,741	3,699
水使用量原単位 (f/a)		1.51	1.37	1.24	1.36	1.34
	基準年度比	削減率	91%	64%	90%	89%
化学物質の適正管理	月末、 チェック	100%	100%	100%	100%	100%
		達成率	100%	100%	100%	100%
環境への配慮 (車輛の環境負荷低減運行)	—	実施	—	実施	—	—

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

達成率：削減目標 = (目標 ÷ 実績) × 100%

取組内容の達成状況：○できた (100%) △ (50%~100%未満) × 全くできなかった (0%)

取組内容	達成状況	継続/変更	評価と次年度の取り組み内容
電力使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	74%	(目標未達成) 電力使用量については換算係数の変動により見かけ上、昨年度より増加しているが、使用量は昨年とほぼ変わっていない。
・ 不要な照明の消灯 (不使用室、休憩時)	○	継続	(次年度) LED照明の導入による消費電力削減を図る
・ 不要時のパソコン、プリンター、ポット	○	継続	
・ LED照明への変更		次年度	
重油使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	71%	(目標未達成) 重油の使用量は減少、コロナ禍の影響で取引先各社から排出される原料廃油自体が減少した事が原因、製品である混合溶剤に使用する回収油の収率低下の影響を受けて生産量が減少している。その一方で蒸留時間は短縮出来無い為、重油使用量は減少していない。
・ 蒸気の無駄使いを無くす	○	継続	(次年度) 取組みは継続して行いつつ、生産効率の向上方法を探っていく。
・ 蒸気漏れの点検、修理を速やかに行う	○	継続	
・ 生産性を向上し使用量を抑える	○	継続	
・ ボイラ、配管等設備の点検、未然防止対策	○	継続	
軽油使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	72%	(目標未達成) 取引量の減少量ほど減っておらず達成率としては下降傾向が続いている。
・ 不必要なアイドリングをしない	○	継続	(次年度) 各取引先からの排出量は減少しているが回収頻度はほとんど変わっていないため、より効率的な回収ルートを選定に努める。
・ 急なアクセル・急なブレーキに注意する	○	継続	
・ 回収ルートの効率化		次年度	
水使用量の削減	達成率	109%	(目標達成) 達成率は昨年よりも悪化したが、取組期間中、問題点は特に無かった。よって、計画通りの取組みを続けていく。
・ 蒸気漏れの点検、修理を速やかに行う	○	継続	(次年度) 活動計画に沿った取組みを継続する。
・ 不稼動時、ドレンバルブを閉める	○	継続	
・ 蛇口締めつけ確認	○	継続	
産業廃棄物の削減	達成率	80%	(目標未達成) 低回収率の原料廃液の使用量が増加し、蒸溜残液の固形化処理により発生する産業廃棄物の発生量が、昨年度より分母となる生産量自体が減少した為、結果として産業廃棄物の達成率としては昨年度から悪化となった。
・ 原料廃液の選定	○	継続	(次年度) 最低限現状維持を目指しつつ削減方法を探り、取り組んでいく。
・ 回収率向上に努め、生産量の増加を図る	○	継続	
化学物質の適正管理	達成率	100%	(目標達成) P R T R対象物質について、在庫量の把握を含めて適正に取り扱いできており、逸脱は無かった。
・ 月末に適正管理かチェックする	○	継続	(次年度) P R T R対象物質について、適正管理に努める。

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（届出の実施、測定の実施、基準値の遵守等）	遵守評価
廃棄物処理法	特別管理産業廃棄物処分業、特別産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業（許可の有効期限）、マニフェストの管理、実績報告	遵守
騒音規制法	特定施設届出、測定記録	遵守
水質汚濁防止法	神戸市との公害防止協定	遵守
毒物及び劇物取締法	表示、盗難防止、毒物劇物取扱責任者の選任等	遵守
NOx-PM法	事業者の責務（規制対象区域の規制）（車検証）大阪府適合車ステッカー制度終了	遵守
消防法	危険物の管理、運搬、危険物保安監督者の選任等	遵守
浄化槽法	保守点検、法定検査等	遵守
神戸市との公害防止協定	水質汚濁防止対策、騒音・振動防止対策、悪臭防止対策、産廃の受け入れ	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境関連法規制等は遵守している。

なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は、過去3年間ありません。

外部から環境に関する苦情、要望などありませんでした。

内部コミュニケーションは、朝礼、掲示板で周知している。

遵守確認年月日：2021年5月31日

環境管理責任者：小西 岳史

代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体の評価

普段の取組みや報告を見るに環境活動についての取組みは的確に出来ているものと考えている。
今年度は低回収率原料の加工依頼の割合が昨年度と同等で推移し、また混合溶剤用原料廃液の低回収率が進行した事で、生産量の減少に対する廃棄物発生量に関して厳しい状況が続いている。
コロナ禍の影響は4～5月の生産にも現れてきている。

(2) 見直し・指示

環境経営方針は2017年版ガイドラインに従い対応していく。次年度の目標についてもしっかり取り組んでいく事。また昨年の指示にあった通り、目標の基準については令和2年度実績をベースに変更を検討していく事。コロナ禍の影響が如実に現れており、取引先の状況が即座に影響する当社にとって厳しい状況が次年度も続いていくものと思われる。当社を取り巻く環境は厳しいが引き続き各々が生産効率の向上を目指し、環境負荷低減に努めていく事を望む。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	昨年度、産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年版に基づき改訂
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	要	次年度、社長交代により最高責任者の変更
その他の要素	否	特になし

2021年6月15日
代表取締役社長
中田 敬子